

三菱UFJ環境財団・神戸大学助成プロジェクト

【基調報告】

石井 亨

(豊島住民会議)

「豊島産業廃棄物不法投棄事件とは何だったのか、そのポスト311時代へのインプリケーションは何か？」

【歴史的視点からの問題提起】

ポール・ジョバン

(パリ第七大学)

「公害訴訟運動と科学：フランス、台湾と日本の事例をめぐって」

宮本憲一

(環境経済学)

「戦後日本公害の歴史的教訓」

【環境維持：最前線からの報告】

伊藤明子 (大阪アスベスト弁護団、弁護士)

加藤正文 (神戸新聞)

松岡夏子 (ゼロウェイストアカデミー)

ESD 対話
シンポジウム

「公害問題の歴史から
われわれは、何を学んだのか」

持続可能な 環境？

講演終了後に、交流ディスカッション「ワールド・サイエンス・カフェ」

(World Science Café cum Tutorial Discussion: Kobe-Tsukahara-Matsuda Method)も予定されています。

※詳しいプログラムは裏面をご覧ください。

日時：**11月22日(土) 10:00-17:00**

場所：**神戸大学・国際文化学部、生協食堂**

参加無料

参加希望者は、visa4skobe@gmail.com (塚原研究室気付) まで事前にメールでお申し込みください。

お問い合わせ：神戸大学・国際文化・塚原東吾研究室 神戸市灘区鶴甲1-2-1 **TEL.078-803-7435**

持続可能な環境？

「公害問題の歴史からわれわれは、何を学んだのか」

神戸大学のESDは、さまざまな学部で教育・研究を推進してきました。今回は三菱UFJ環境財団からの助成を受け、公開シンポジウムを開催します。このシンポジウムのために、学生たちは「アクション・リサーチ」として、さまざまな現場訪問やフィールド・ワークをしてきました。ここでは専門家の先生たちをお招きし、現場を見た学生たちに市民の方々も交え、「対話」をすることを目指します。さまざまな公害の経験は、ポスト311的な状況のなかでどのように考えられるのか、そもそも環境問題とは何か、持続的発展とは一体どういう意味かを問い直します。どうかふるってご参加ください。

Program

10:00-10:15

ご挨拶・開催趣旨 松田毅、塚原東吾(神戸大学)

第1部

基調報告:豊島の経験から持続的環境を考える

10:15-11:00

石井 亨(豊島住民会議、元香川県会議員)

「豊島産業廃棄物不法投棄事件とは何だったのか、そのポスト311時代へのインプリケーションは何か？」

テーマ1 持続的環境についての具体的な取り組み

11:00-11:30

伊藤明子(大阪アスベスト弁護団、弁護士)

「アスベスト被害の原点・泉南から見た国の責任」

11:30-12:00

加藤正文(神戸新聞)

「海外と尼崎、そして(神戸)震災アスベストの現状」

12:00-12:30

松岡夏子(ゼロウェイストアカデミー)

「家庭ごみ減量最前線:日本と東南アジアの事例」

テーマ2 歴史的視点・世界的視点からの問題提起

13:15-14:00

ポール・ジョバン(環境社会学、パリ第七大学)

「公害訴訟運動と科学:フランス、台湾と日本の事例をめぐって」

14:00-14:45

宮本憲一(環境経済学、大阪市大名誉教授、元滋賀大学学長)

「戦後日本公害の歴史的教訓」

第2部

パブリック・ディスカッション 司会:塚原東吾(神戸大学)

15:00-16:30

交流ディスカッション「ワールド・サイエンス・カフェ」

(World Science Café cum Tutorial Discussion: Kobe-Tsukahara-Matsuda Method)



「穂やかで美しい瀬戸内」



「根底から破壊される豊かさ、自然はデリケート」



「この環境は二度と戻らないかもしれない」